學藝新聞

第１号
2015年（平成27年）7月21日発行

■ 電子黒板導入特集 …… 1・2
■ 学芸ニュース …… 3
■ 輝く人（卒業生・在校生紹介）…… 4・5
■ 文化部紹介・体育部紹介 …… 6・7
■ 学芸スポーツ …… 8

■発行元
大阪学芸高等学校
OSAKA GAKUGEI SENIOR HIGH SCHOOL
〒558-0003 大阪市住吉区長居１丁目４番15号
TEL.06-6693-6301　FAX.06-6693-5173
www.osakagakugei.ac.jp/senior

ICT 電子黒板 導入!!

電子黒板が本館全クラスに導入されました

本校に電子黒板が導入されました。写真にある通り、大画面にパソコン本体の画面が映し出され、タブレットのように電子黒板をタッチすることでさまざまな操作ができるものです。今まで時間をかけて黒板に手書きをしていたものを、データとして瞬時に映し出すことができます。もちろん「黒板」なので書き込みもできます。

従来に比べ、よりスピーディーな授業展開が可能になります。換言すれば、新たな授業構成を考察していく必要がある、ということでもあります。

各教科の特性を考慮した上で工夫を凝らし、更なる教育の可能性に取り組んでいきたいと考えています。

ICT とは？

Information and Communication Techuology

IT 技術の総称であり、特に公共事業の分野において使われる用語である。

ICT の教育現場への活用としては平成 21 年度の学校 ICT 環境整備事業において、全国の小中学校にデジタルテレビ・パソコン・校内 LAN などの設備機器が導入された。ICT 教育の具体例としてはパソコン電子黒板実物投影機DVD動画プレゼンテーションソフト（Power Point）などの活用があげられ、そこでグラフや資料を効果的に使用し授業の効率化を図っている。

大阪学芸高等学校附属中学校が

平成28年4月、開校いたします。（予定）

大阪学芸高等学校附属中学校は、「規律ある学校生活」のなかで「静かで落ち着いた学習環境」を保障し、基礎学力の定着はもとより、６年後の大学入試改革を見据えた「２１世紀型教育」を行う中学校です。小学校でがんばってきた児童を応援するために、英語資格入試や特技入試といった特徴的な入試も実施します。詳しくは、下記の入試説明会にお越し下さい。

■入試説明会・プレテスト・個別相談会

日　程	入試説明会 10:00～11:00	プレテスト 10:00～（国算各30分）	個別相談会 11:00～12:00
9/27（日）	第１回		あり
10/25（日）	第２回	第１回	あり
11/7（土）	第３回	第２回	あり
11/22（日）	第４回	第３回	あり
12/6（日）		第４回	あり

※下記の土曜日 10:00～11:30、13:00～14:30にも個別相談会を実施します。
10/3・10/10・10/31・11/28・12/12・12/19および1/30（2月入試対応）・2/27（3月入試対応）
※プレテスト・個別相談会は事前申込が必要です。

在校生の弟妹、卒業生の子女・孫・弟妹には、入学金・授業料の特待制度があります。

求める生徒像
小学校6年間で何か一つがんばった経験と実績のある児童
元気で明るくいきいきと小学校生活を過ごした児童
小学校の教科書内容の基礎的な内容を理解している児童

大阪学芸高等学校附属中学校
OSAKA GAKUGEI JUNIOR HIGH SCHOOL

お問い合わせ　大阪学芸高等学校附属中学校準備室　〒558-0003　大阪市住吉区長居１丁目4番15号　TEL 06-6693-6301　FAX 06-6693-5173　大阪学芸　附属中　検索

新たな授業

電子黒板 導入のメリット

英語科担当　佐武史奈子教諭に聞きました

電子黒板を使用することで、これまでとは違った形の授業を展開できるようになりました。たとえば、授業のテーマで扱われているものに関する写真を電子黒板で表示することで、生徒にイメージを持たせやすくなり、説明の際にアニメーションを使うことで、文字だけでなく視覚的に理解できるように授業を行っています。また、電子黒板に表示させる文字の大きさや行間を大きめに設定し、重要な部分はあらかじめ文字の色を変えておくなど、生徒が見やすいように心がけています。さらに表示した画面上に書き込むこともできるので、補足説明を書き足したり、ポイントになる部分を強調させたりすることができます。１つの画面で説明の内容が完結するようにしているので、生徒たちにとっても授業のテンポがつかみやすいのではないかと思います。

日本史担当　中山裕貴教諭に聞きました

電子黒板を導入したことによるメリットは二つありました。

まず一つ目は、映像・動画を容易に見せられるようになったことです。映像を見せる際は、ＤＶＤとＤＶＤプレイヤーやデッキを持込み、セッティングしてから見せるというのが従来の方法でした。この方法では手間と時間がかかりましたが、電子黒板を導入してからは、パソコンにＤＶＤを入れれば待たずに再生され、５分程度の短い動画を見せてすぐ授業に戻ることも可能になりました。社会科のような資料を見せることの多い授業では、写真・動画を見せることでより理解度を上げることができました。

二つ目のメリットは、生徒が顔を上げて黒板に集中するようになったことです。

例えば従来は「教科書の何ページの何行目に注目」といった指導の際には、生徒はずっと下を向いたままでした。下を向いたままの姿勢では生徒の集中度に差が出てしまいます。また、教師に生徒の顔が見えず、従って彼らの理解度を推し量ることも困難でした。電子黒板に教科書を映し、たとえば「ここに線を引きましょう」と言いながら電子黒板上に線を引けば、生徒は前を向き、どこに線を引くかを自分で確認することができ、理解度も格段に上がることが表情からもうかがえます。

今後は、電子黒板だけでなくタブレットも活用した授業を行い、自主的に調べる姿勢を身に付けることで学力向上につながる授業展開をしていきたいと考えています。

理科の実験にタブレット導入

今までは実験の手順や注意点を説明しながら操作していたため、説明中は生徒の表情を見る余裕がなく、一方、説明後は「先生、先生」といろいろな場所で呼ばれ、全体を見ることが難しいと感じていました。前もって成功した実験の手順、操作をまずタブレットで示すことにより、上記の問題が解決し、全体を見渡して細やかな指導をすることができるようになりました。

その他の先生方にも導入によるメリットなどをお聞きしました！

- 図や写真、動画などさまざまな情報を瞬時に映し出せる。
- 口頭説明ではイメージしにくいものも目で見れば即座に理解できる。
- 今まで時間のかかった本文板書問題が解決。ノートの全体イメージも提示できる。
- 長い文章も事前に準備しておけば見せたいときに見せたいようにアレンジできる。
- モニターではなく電子黒板だから直接書き込める。
- 動画を導入することで授業の幅が出た。

授業の形に大きな変化

電子黒板が入ることにより、授業の形が大きく変わりつつあります。

今までは主に教科書や図録から情報を得ていたため、情報収集→執筆→編集→印刷→出版→教育現場というタイムラグがありました。

しかし、電子黒板からインターネットを通じて、世界の情報をリアルタイムで得ることができるようになります。

ただ、現時点では全ての教科において使えているわけではないので、今後、各教科で検討を重ね、「電子黒板があるからできること」の領域を広げていきたいと考えています。

生徒の意見も聞きました！

自信をもって実験に取り組めるようになった！

以前は、実験操作について先生から一通り教壇で見本を見せてもらい、「では、実験を初めてください。」と言われていました。でも、よく見えなかったり、１回だけでは理解できなかったりすると、「先生、次はどうしたらいいですか？」と先生を呼ぶ声が多くあがり、結局何度も質問しながらになって、時間もかかりました。タブレットを班に一台ずつ渡され、タブレットを見ながら操作することにより、班の人同士で相談し、次に進める場面が増えました。うまくいかないときがあっても、すぐに先生に頼るのではなく、生徒同士で解決することができるようになりました。

電子黒板になって授業が判りやすくなった！

日本史・世界史で画像をたくさん見せてもらっています。写真よりも文字の方が圧倒的に多い教科書を読んで話を聞くだけよりもはるかにイメージしやすく、さまざまな事項をつなげて覚えることができるようになりました。

学芸ニュース

芸術鑑賞会

中国の伝統芸能に触れて

５月２６日（火）ビッグ・アイにて芸術鑑賞会を実施しました。
今回は、日本と関係の深い中国の伝統芸能に触れ、文化に対する興味・関心を喚起するきっかけとすることを目的に、京劇を鑑賞しました。

第１部の演目は、雑技。皿回しや一輪車などの巧みな芸に、生徒たちは歓声をあげました。特に印象に残っているのは、椅子を使った芸です。舞台の天井近くまで積み上げられた椅子に腕一本でバランスを取る姿に、会場全体から大きな拍手が起こりました。

第２部は、京劇入門講座からスタート。代表の生徒たちが簡単なメイクをして舞台上に登場し、演者の方から京劇の所作を教わりました。その後「西遊記」を鑑賞。音楽のように抑揚のある中国語の台詞、独特の立ち居振る舞い、一瞬で表情が変わる変面など、見どころも多く、魅力ある内容でした。

看護プロジェクト企画

看護師を目指すために

今年度から発足した看護プロジェクトの企画の一つとして、看護師を目指す生徒を対象に、５月 25 日(月）講演会を行いました。

講演会当日は「一般財団法人　住友病院　健康管理センター看護部師長」の塩見眞琴さんをお招きし
① 看護師の１日
② 高校生のうちに何をしておくべきか
③ 看護師として求められる人物像
をテーマに、普段患者の側からは見えないような話や面接のポイント、コミュニケーションをとることの大切さの講演をいただきました。

講演会を終えて

１年６組　谷川　凪紗

最も印象に残った内容

塩見さんからお話を伺い、看護師は日々勉強し、体力や忍耐が必要な仕事だと感じました。夜勤の間も患者さんひとりひとりに向き合い、病院内を駆け回り、とても大変だと思いました。看護師さん同士仲良くチームプレイで仕事を行うことができるかどうかも自分次第だとわかりました。私は何事も諦めず、人に言われたことは素直に受け止めて、最大限の能力を発揮できる立派な看護師になりたいと思います。

自分自身が目指す看護師像

私は、「頼りになり、患者さんはもちろん、患者さんの家族のケアもできる看護師」になりたいと考えています。私の祖父が入院したとき、祖父の担当の看護師さんは、祖父のことを第一に考えながらも、付きっきりの祖母のことまで一生懸命考え、祖母の心のケアをしてくださいました。その姿を見た私は、この方のような看護師になりたいと強く思いました。

高校生活における今後の目標

私の目標は３つあります。
- 苦手な教科と得意な教科の点数の差を広げないこと
- 体力をつけること
- 周りの人の指導や援助を素直に受け、諦めずに、看護師になる夢を実現すること

この３つを目標に頑張ります。

2045年問題と高大連携

校長　佐藤　精治

皆さんは、2045 年問題という言葉を聞いたことがありますか。人工知能(コンピューター)が人間を超える「特異点」を迎える年と予測されています。そんな時代に働き盛りとなっている今の子どもたちに求められる力は「主体性・多様性・協調性」といわれています。未知なものに対して柔軟に対応していく思考力・実践力とも言えます。この能力を高校と大学が協力して育成していく。このために大学入試改革が始まろうとしています。

その柱となるのが「高大連携(接続)」という考えです。例えば本校が摂南大学との間に結んだ協定書の中には次のようなことが書かれています。

1　本校生徒が将来を考えるために必要な情報を大学が提供する。
2　本校生徒に大学でのガイダンス・セミナーおよび学習機会を提供する。
3　本校生徒に大学での入学前教育を実施する。
4　大学の教職員を本校の教育活動を支援するために派遣する。

このように高校と大学の間にある壁をできる限り取り去り、相互に協力して未来を生きる子供たちに必要な資質を育成していこうという大きな波がうねり始めています。本校もさまざまな大学と連携し、教育の質をさらに深いものにしていく所存です。

校長先生による協定書調印式（右）佐藤校長

卒業生の活躍

輝く人 リポート vol.1

自分を表現する力を磨く

特技1期生　2010年度卒業生　山中海輝さん（21歳）

山中海輝さんは、本校　特技コース１期生です。５歳から続けているサーフィンですが、在学中の17歳でプロに転向し、現在、関西大学生として学びながら国内のプロツアーや海外の試合をフォローされています。山中さんにサーフィンへの思いと、在校生へのメッセージをリポートしました。

「サーフィンの魅力を教えて下さい」

「同じ波は二度と来ない」サーフィンの魅力をこの言葉で言い表せます。初めて波に乗りサーフボード上に立ったのは幼稚園の時でした。その瞬間に、波に対して漠然と抱いていた恐怖心が「楽しい、もっと乗りたい」という前向きな気持ちに変わりました。しかし小学３年生時、海に入る・波に乗る・休憩する、といった繰り返しの行為が惰性となり、いつしか海から遠ざかるようになりました。そんな折、何気ない気分でささやかなコンテストに出場してみました。結果的には敗退しましたが、この時に今までと違ったサーフィンの一面すなわち「次は負けたくない、断じて勝つ！」という気持ちを駆り立たせる、勝負の世界に触れたのです。以後、その魅力にとりつかれ、現在に至っています。

「高校生活はどうでしたか」

いままでの人生の中で一番サーフィンという特技が伸びました。特技コースなので十分に配慮していただけた環境があったからこそです。世界で活躍する友人たちもおり、高い結果を出してもいるので、自分を高める強い刺激になりました。また大きなケガを長期にわたって治療して復帰した友人が身近にいて、私が大学生になってからケガしたときに、そのときの彼の姿を思い出して励みとなりました。とにかく個性の強いクラスメートたちに囲まれて楽しい３年間でした。

「高校生の時にプロサーファーになったのに大学進学を決意した理由は？」

サーフィンだけでなく、「大学で学ぶ」ことを通して視野を広げたかったからです。実際、大学の友人には、起業したり、いろんなイベントを企画したりする人たちもいて、大きな刺激になっています。「自分を高める」場所、「将来の選択肢を増やす」場所になっています。

「昨年の文化祭に、サーフィンの企画に取り組んだそうですが」

世間のサーフィンに対する印象はおそらく、今風の若者言葉で表現するなら「チャラい」というものではないでしょうか。私は、「スポーツ」としての魅力をより広くより深く知ってもらいたいと願い、企画を立案しました。

千里山キャンパスで、テントを張り、中では、サーフボードなどの道具の展示や、実際の競技風景を録画したＤＶＤの上映、写真の展示などを行いました。もちろん来場者の方に対しては、サーフィンがどんな競技で、どういうルールのもと争われるのかといった説明もしました。スポンサーのレッドブルのご協力を得て大変好評でした。

「将来の夢は何ですか」

大学卒業後、フリーになって、その時間を海外をベースにした活動に費やしたいです。オーストラリアやハワイ、バリ、インドネシアなどに転戦しようと考えています。日本には時期を決めて回っていきます。そして、世界のトップを取って、説得力を持ちたいと考えています。

「後輩にメッセージをお願いします」

関西大学で「大阪学芸出身です」といえば、みんなが知っている高校です。
私は特技コース出身だからこそ言えるのですが、個性豊かな友人に恵まれ、「自分を表現」する力を磨かれました。いろんなコースがあり、さまざまな行事のある高校で、ぜひとも「自分磨き」を行って下さい。

プロフィール

山中海輝さん（21歳）

誕生
平成６年７月２日生。
大阪府堺市出身。

高校生まで
両親の影響で５歳でサーフィンをはじめる。
17歳でプロに転向。
本校特技コース１期生。

現在
関西大学生として学びながら国内のプロツアーや海外の試合をフォローしている。
「堺市栄冠賞」を受賞。

スポンサード

roial、XCEL、303、
peace surf crew、etnies、
VESTAL、master-piece、
KAINO、郎、REOMA、
REVOLVER、EPOKHE、
Black line、髙橋技建 etc…

主な戦歴

2011 ISA World junior U-18 →日本代表　主将
全日本サーフィン選手権→ジュニアクラス　優勝
2012 ISA World junior U-18 →日本代表 主将　17位
プロ転向
2014 JPSA 日本サーフィン連盟 →年間ランキング 23位

在校生の活躍

輝く人 リポート vol.2

内に秘めた闘志が窺（うかが）われる

特技5期生　2年1組　石本さくらさん（16歳）

石本さくら（特技5期生2年1組）
平成11年1月27日生。　大阪府吹田市出身。

主な戦歴

- **第４期　リコー杯女流王座戦　アマチュア予選 西日本大会**（平成26年４月20日）　優勝（本戦出場資格取得）
- **第４期　リコー杯女流王座戦（本戦）**　一次予選（平成26年５月24日）　２勝（一次予選通過）
- **第39回デイリースポーツ杯争奪　青少年将棋選手権大会 高校生の部**（平成26年５月３日）　準優勝
- **第50回全国高等学校将棋選手権大会・第38回全国総文祭**（平成26年７月27日～28日）　準優勝
- なお第51回全国高等学校将棋選手権大会・第39回全国総文祭にも出場権獲得しました。

外見はおとなしそうに見える石本さんですが、棋戦の観戦者から「勝負の一手は駒を指す気迫がちがった」との感想が。内に秘めた闘志が窺われる場面です。石本さんに将棋への思いをリポートしました。

「いつから将棋をしていますか？」

小学校４年生の終わり頃から始めました。きっかけはクラスの男子が指しているのを見て興味を持ち、近くの将棋教室に通い始めたことです。

「いままで将棋を指してきて、楽しかったことや苦しかったことは何ですか？」

苦しいときは、今なのかもしれません。結果が出ないときはいつも苦しいです。けれども、いい結果が出てもそれを維持しないといけないので、やっぱり苦しいです。

女流棋戦に出させてもらったとき（第４期　リコー杯女流王座戦【本戦】vs 香川愛生女流王将）、最も格上の対局室で最高品の駒盤で対局させてもらったことは、楽しい思い出として残っています。

「将棋の魅力を教えてください。」

完全に個人プレーで、審判もいない。引き分けもなく白黒がはっきりしている点です。

「将来の目標を教えてください。」

奨励会（プロ棋士養成機関）に入ってプロ棋士になることです。

輝く人 リポート vol.3

バトントワリングで日本代表に

特技4期生　3年2組　寺島　舞さん（18歳）

寺島　舞（特技4期生3年2組）
平成9年4月16日生。
大阪府八尾市出身。

主な戦歴

- **「第４０回全日本バトントワリング選手権大会」**→優秀な成績を修める。
- **「第８回WBTFインターナショナルカップ」「2015年IBTFグランプリ大会」**（両大会は同時開催）→日本代表に選ばれる。

寺島舞さんは、お母さまの影響で３歳からバトントワリングを始められ、その後数々の大会に出場し、バトントワリングの日本代表に選ばれました。寺島さんのバトントワリングの思いをリポートしました。

「バトントワリングの魅力は何ですか？」

新しい技ができるようになったら楽しいですね。踊って自分を表現し、お客さんに喜んでいただけたら、うれしい。

「では楽しかったことは何ですか？」

小学校５年生の時に全国大会で優勝したときです。本当にうれしかった。

「バトンを通じて学んだことは何ですか？」

あきらめが悪い方と言いましたが、よく言えば、バトンの練習を通じて、忍耐力がついたと思います。

「今までバトンをやってきて、つらかったことは?」

結構、つらいことは多いです（笑い）。けれども、何が何でも続ける思いで、どんなに嫌になっても練習を続けてきました。あきらめが悪い方なんです。

「世界大会に向けての抱負を聞かせてください。」

とにかく本番で自分の全力を出し切ります。緊張はしないタイプなんですが、本番ではちょっとだけ「びびる」ので。

「将来の目標は？」

高校を卒業したら、大学でもバトンを続けたい。そして将来的にはコーチなど指導者を目指します。指導者として後輩にバトンの魅力を伝えていければいいなと考えています。

頑張って！文化部

目指せ！関西大会出場

吹奏楽部はコンサートとマーチングの両立を目指しています

定期演奏会第１部

第1部はマーチングステージ「レミゼラブル」を演奏しました。

定期演奏会第３部

第3部はコンサートステージ「フェスティバル・ヴァリエーション」他を演奏しました。

今後の主な取り組み

7月26日（日）　吹奏楽コンクール中地区大会（於：八尾プリズムホール）
8月15日（土）　吹奏楽コンクール大阪府大会
8月20日（木）～23日（日）　夏合宿（於：奈良県曽爾高原）
9月 7日（月）　体育祭（於：大阪市中央体育館）
9月12日（土）　文化祭（於：本校体育館）
9月13日（日）　大阪府マーチングコンテスト（於：舞洲アリーナ）
9月22日（祝）　鶴ヶ丘スクエア（於：JR鶴ヶ丘駅周辺）
9月23日（祝）　関西マーチングコンテスト

吹奏楽部の紹介

■活動時間

活動時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~17:00							●
16:45~18:30	●	●	●	●	●	▲	

※土曜日は14:00～17:30

■活動場所／音楽室（本館４階）

■部員数

	１年	２年	３年	合計
人数	45人	49人	31人	125人

吹奏楽部から一言

次の目標は、夏の吹奏楽コンクール大阪府大会での金賞代表、そして夢の関西大会に出場すること。あわせて大阪府マーチングコンテストでも金賞代表を受賞して、関西大会に出場することです。

吹奏楽部 活動紹介

昨年度の３月、クラブ史上初のＮＨＫ大阪ホールでの定期演奏会を終え、私たちにとって大きな喜びと励みになりました。

活動報告（2014年3月～6月）

第 27 回定期演奏会

第１部：マーチングステージ
「レミゼラブル」
―夢見る明日へ―
第２部：企画ステージ
音楽絵本
「ストーリー･オブ･クジラ」
ゲストプレーヤー
（Fuzzy Control）SATOKO
第３部：コンサート･ステージ
「吹奏楽のための祝典序曲」「科戸の鵲巣」、「コーラルブルー沖縄民謡『谷茶前』の主題による交響的印象」、「フェスティバル・ヴァリエーション」
アンコール「故郷の空」
卒部式：「未来へ」

入学式

４月６日（月）ＮＨＫホール大阪において入学式の演奏を担当しました。君が代を演奏し、コーラス部の合唱と共に学園歌と校歌、「シャイン・ダウン」「大阪 LOVER」「故郷の空」を新入生歓迎の曲として演奏しました。

スプリング・コンサート

4月26日（日）JR難波OCAT「ポンテ広場」にて春秋の年２回恒例となっている駅前コンサートでの演奏をしました。卒業生が主体となり活動している OB 会吹奏楽団（以下OB 楽団）が催す野外コンサート（入場料無料）です。

第１部の現役生ステージでは「ラブ・ポップ・ソウル」他を演奏しました。

第２部は OB 楽団のステージの後、現役･OB 楽団の合同演奏を行いました。合同演奏曲では新1年生の合唱を入れた「翼をください」を演奏しました。

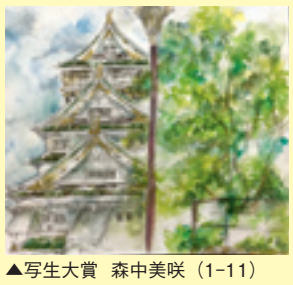
ブラスエキスポ 2015

5月10日（日）万博記念公園にて行われたブラスエキスポに参加しました。「ブラスエキスポ」とは関西一円の小学生～大学生あるいは社会人までの吹奏楽連盟に所属する団体が参加するイベントで約7000 人の吹奏楽仲間が集まりました。

頑張って！文化部

第48回 私学写生大会で受賞！

▲写生大賞　角田　諒（2-10）



▲写生大賞　森中美咲（1-11）

受賞の言葉　**写生大賞受賞**　2年10組　角田　諒

今回、写生大会で賞をいただけたこと、とてもうれしかったです。この賞は僕が美術部に入って初めての賞になりました。苦労して描いた甲斐があったと思います。

苦労したことといえば、外はとても暑く、蟻がいっぱいいたこと、描写時間をもう少しほしかったということです。実力や慣れの無さが明らかになるきっかけにもなったので、その点についてはかえって勉強になりました。

僕が描いた絵ですが、ほのぼのとしたイメージを描写しました。クロッキーに協力してくれた班員の二人にはとても感謝しています。

今回、賞を取ることができたことは、今後の自信につながっていくと思います。次は私学展があるので、この調子で頑張ろうと思います。私学展に出展する作品は時間のかかるものなので、最後まで諦めず、懸命に努めます。

受賞の言葉　**写生大賞受賞**　1年11組　森中　美咲

初めての大阪城であり、初めての写生大会でした。大阪城の大きくて力強い迫力や、細やかな装飾がとても印象的だったので、それらの点を意識して描きました。

そんな中で苦労したのは、風に揺れるたびに表情を変える木の葉を描くことでした。動くものを静止画で表現するのは、とても難しく感じました。

たくさん苦労しましたが、この絵は部活の先輩や友達、他校の人達の気迫に影響を受けて描くことができたのだと思います。このように、美術部は美術を通して、技術だけでなく心も高めることができる場所です。

今は、美術部全体で、私学展に出展する絵をそれぞれ描き始めています。

これからも、先輩方の姿を見習いつつ、先生方からいただいた言葉のひとつひとつを大切にしながら成長していきたいと思います。

美術部から一言

私たち美術部では、授業ではなかなか取り組みにくい油彩や透明水彩などにも取り組めます。初心者でも大歓迎ですので、美術室を訪れてみてください。現在は私学展に向けて頑張っている所です。

美術部 活動紹介

５月 31 日(日)に１・２年生 18 人が第 48 回私学写生大会に参加してきました。場所は大阪城公園で午前 10 時から書き始めて午後３時半まで描き続けました。初めての長時間にわたる炎天下の写生でしたが大変良い結果が出せました。

写生大賞	角田　諒（2-10）
	森中美咲（1-11）
奨励賞	松若　葵（2-4）
	大西杏桂（2-7）
	中山龍樹（2-13）
	宮田詩穂（1-12）

▲奨励賞　中山龍樹（2-13）

年間行事

4月　新入生歓迎展
6月　私学写生大会
7月　大阪私学美術展（於：大阪市立美術館）
9月　文化祭（校内）
2月　芸術文化祭（私学･公立高合同開催のコンクール展）

美術部の紹介

■活動時間

活動時間	月	火	水	木	金	土	日
16:45~18:30	●		●	●		●	

■活動場所／美術教室（東館４階）

■部員数

	１年	２年	３年	合計
人数	７人	14人	０人	21人

頑張って学園 体育部

19年連続全国大会出場！

女子団体組手

空手道部 活動紹介

今年は全国高校選抜大会の女子団体形で優勝するなど、全国での連続入賞を続けています。

第34回 全国高等学校空手道選抜大会

平成27年3月25日～27日　東京体育館

女子団体形は、昨年が準優勝だけに今年こそは優勝をとしっかり目標を絞って大会にのぞみました。序盤から強豪校を相手に接戦をくぐり抜け、決勝戦へ進み、静岡県の御殿場西高校と対戦。本校の一糸乱れぬスーパーリンペイに対し、相手は力強さを前面に出したゴジュシホショウ。判定は6対1の大差で本校に勝利をもたらしました。女子団体形の優勝は12年ぶり2度目のことになります。

男子団体形は7連覇を目指した東京都の世田谷学園高校を準決勝で下すなど大きく飛躍、決勝では千葉の拓殖大学紅陵高校に敗れたが過去最高の準優勝となりました。

また男女団体組手も出場。男子は全国優勝歴のある強豪校に勝利するなど大いに活躍しました。

第30回 火の国旗高等学校空手道優勝大会

平成27年5月4日・5日　熊本市総合体育館

女子は初戦に奥田遥菜（2年）が五人抜きするなどで勢いに乗り、地元の強豪である開新高校や北九州チャンピオンの長崎日大高校などを撃破し決勝へ、決勝では全国選抜準優勝の宮崎第一高校に敗れたものの、過去最高の準優勝という成績をおさめました。

空手道部（男・女）の紹介

■活動時間

活動時間	月	火	水	木	金	土	日
16:45~19:00	●	●	●	●	●		●
13:30~17:00						●	●

※日曜日は２部練習することがあります

■活動場所／南館体育室

■部員数（男子26人 / 女子24人）

	１年	２年	３年	合計
人数	14人	19人	17人	50人

女子団体形

男子団体形

頑張って学園 体育部

仲間と共に勝利を掴む！

バレーボール部女子の紹介

活動時間	月	火	水	木	金	土	日
13:30~16:00						●	
16:00~18:00						●	
16:00~19:00	●		●	●	●		

火／朝練、放課後トレーニング
日／半日練習、1日練習

■活動場所／本館体育館、外部施設

■部員数

	１年	２年	３年	合計
人数	６人	６人	６人	18人

バレーボール部 活動紹介

「今に全力」全力で取り組み、周りに感動を与えられる人であれ。
「礼儀節度」周囲の方への感謝を忘れず、己を磨け。
「一蓮托生」仲間のために努力し、全員で勝利をつかめ。
この３つをモットーに頑張っています。

春季大会(部別リーグ戦)

日程：4月26日(日)
会場：本校
結果：3戦全勝で1部1位

〔試合解説〕
公立高校大会で優勝している吹田東、泉南大会決勝で敗退した日根野、中学校から強化している賢明と強豪校が集う中で、フルセットを2試合しながらもしっかり勝ち取り、大阪府で10チームしかもらえない「1部1位」という称号をもらうことができました。

インターハイ予選

日程：5月31日(日)
会場：大阪女子短期大学高等学校
結果：3回戦敗退

〔試合解説〕
ベスト16が近畿大会へと駒を進められるインターハイ予選。この試合にかけて毎日練習に励んできましたが、3回戦でベスト8常連校の大阪女子短期大学と対戦し、惜しくも敗退しました。
この悔しさをバネに来年こそは近畿大会出場を果たします！

プチ情報

- 6月21日(日)
  「地区選抜大会(西地区選抜)」開催
  3年11組の永田琴乃選手、中澤楓選手が選ばれました。また、西地区のコーチとして女子バレー部顧問の眞鍋教諭が選ばれました。
- 6月28日(日)
  小学生対象大阪学芸バレーボールカップ開催
- 6月末
  「OSAKA GAKUGEI VOLLEYBALL ARENA」完成
  床は春の高校バレー全国大会でおなじみのオレンジコートです。

団結力は抜群!!　一人はチームのために！チームは一人のために！

学芸スポーツ

GAKUGEI SPORT　2015/7月21日

第1号

■発行元
大阪学芸高等学校
〒558-0003　大阪市住吉区長居１丁目４番15号
TEL 06-6693-6301　FAX 06-6693-5173

平成27年度 大阪府高等学校空手道春季大会 兼 インターハイ府予選

藤田 優勝　河上 準優勝

インターハイ出場決定!!

藤田 心（3年）

平成27年6月13日(土)、14日(日)に行われた「平成27年度大阪府高等学校空手道春季大会(兼インターハイ府予選)」の男子個人形競技で、本校空手道部の藤田心(3年)が優勝、河上陸士(3年)は準優勝し、7月30日から奈良県宇陀市で実施される全国高等学校総合体育大会空手道競技(インターハイ)への出場権を獲得した。大阪学芸高校では平成24年度に久保弘樹が優勝しており、3年ぶり2度目の優勝を狙っている。

優勝　3年10組　藤田 心

インターハイ予選に向けて他のところとは比べものにならないくらい練習してきたという自信があったので、怖じ気づくことなく普段通りの形を演舞しようと思いました。相手を必要以上に意識せず、自分の形をしっかりと魅せる気持ちで挑みました。

準決勝まで順調に進み、そこで同期の二人と顔を合わせました。その二人とは高校の空手道部に入ってずっと同じ練習をこなしてきたので、決勝ではこの二人のどちらかと試合する、と確信していました。

そして準決勝に勝利して決勝へ。学芸同士での決勝戦はこれで3度目ですが、やはり、勝つという気持ちの前に、学芸同士で決勝戦ができるという嬉しさの方が大きかった。

二人とも全力で決勝を戦って、私はもうどちらが勝ってもおかしくないと思いました。結果は6対1で私が勝利しました。とても嬉しかった。お互い全て出し切ったので、インターハイも頑張ろう、と握手し、個人形の試合を終えました。

本戦であるインターハイも、今回と同じく、決勝を学芸の二人でやろうと誓い、それと同時にもっと練習しなければ、と決意を新たにしました。

大阪代表として出場するので、みんなの思いと大阪学芸高校を背負って、恥じることのない形を魅せられるよう頑張ります。

河上 陸士（3年）

準優勝　3年2組　河上 陸士

6月13日のインターハイ予選では、ライバルであり仲間でもある椋本くんに勝たないとインターハイに出場できないので、それを意識して練習しました。引退をかけた試合だったので必死でした。他の高校にも強い人達がおり、ひとつの形だけを磨いていても勝てない状況だったので、質・量ともひたすら練習しました。

椋本君との試合では、自分の持てる力を全て出し切る気持ちで挑みました。幸運にも3対2で勝つことができました。椋本君の分も、インターハイでは勝とうと思いました。

インターハイでは、人生で2度目の個人戦での全国大会なので、すごく緊張するとは思いますが、自分の力を出し切ることを意識して練習します。大阪代表として出場権を獲得したからには、負けることができないので、強敵にも勝って、藤田君と決勝で戦う決意です。

僕に空手道を一から教えてくださった先生方や、毎日ご飯を食べさせ、空手をさせてくれる両親、一緒に練習をしてきた仲間に感謝をして、インターハイでは是非とも優勝したいと思います。

「特進看護コース」「新 留学制度」開設！

在校生の兄弟姉妹、卒業生の子女・孫・弟妹には
入学金・授業料の特待制度があります

選抜特進コース	2学年進級時にコース変更可能	国公立・難関大学（文系・理系・看護）	60名
特進理数コース		国公立・難関大学	120名
NEW! 特進看護コース		看護系大学	
特進コース		難関大学	280名
進学コース		有名大学	
NEW! 国際コース（特進・進学）	1年留学期間	難関大学・外国語大学	
特技コース	重点クラブ地域活動	大学・専門学校・プロ選手など	80名（専願のみ）

2015 OPEN SCHOOL　予約不要
入試説明会とオープンスクールを行います。
時間 各日13:30～　場所 本校　対象 生徒・保護者
9/27(日)・10/25(日)・11/7(土)
11/22(日)・12/6(日)　※12/6は入試説明会のみ
詳しくは高校ホームページへ

大阪学芸高等学校
OSAKA GAKUGEI SENIOR HIGH SCHOOL

お問い合せ　大阪学芸高等学校募集対策部
〒558-0003　大阪市住吉区長居1丁目4番15号
TEL 09-6693-6301　FAX 06-6693-5173
www.osakagakugei.ac.jp/senior